

最優秀賞

神奈川県教育長賞

わたしのだいすきなママ

海老名市立杉本小学校

三年 山下 結愛

わたしのママは元気です。しかしみんなにはないしよにしています。本当は色いろなびょう気があります。

わたしのママのびょう気は、ほかの人には見た目で分からないのでこまっています。ママは車いすにのっているわけでもないし、目が見えないわけでもないですが、体の中がこしように、体にきかいがついています。そのため、電車の中で具合がわるくなっても元気そうに見えるため、せきをゆずってもらえません。通りすがりにぶつかってくる人もいます。

そして、びょう気のせいでつかれやすく、家ではすぐ横になってしまいます。そんな時、わたしは自分でごはんを作ります。目玉やきをフライパンでやいたり、れいとう食品を温め

て弟の分も作ってあげます。弟は、わたしの分ものみ物を用意してくれませう。

そこでわたしは、えきや、ショッピングモールで休けいする場所があつたらいいなと思ひました。それはベンチではなく、ほかの人の目を気にせず横になれる場所です。

ママが外で具合がわるくなつた時に横になれたりすると今よりも外に出やすくなつたり、買ひ物をしやすくなると思つたからです。

ニユースを聞いていて、大学の女子トイレに休けいする場所があると知りませう。それは、具合がわるくなつた時や、ちよつと休みたい時に横になれる場所です。

ママみたいに見た目では元氣そうに見えるけど、びよう気や、しょうがいのある人がいるといふことを知つてほしいです。また、ほかの人の目を気にせずちよつと横になれる場所がこの町にもあつたらいいなと思ひませう。